

令和6年度 益田市東部地域包括支援センター事業計画

令和6年3月31日作成

事業項目	事業の重点項目	事業計画	事業実績
総合相談支援事業	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や関係機関への総合相談窓口の周知 ○住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、専門性を活かした相談対応 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存のネットワークの活用と、新たなネットワークの構築 ○地域包括ケアシステム充実のために関係機関や地域の支援者との協働 <p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○圏域の実態について情報収集し、地域ニーズに応じた取り組みの実施 	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民や関係機関へ総合相談窓口の広報活動 ○公民館等での総合相談窓口の開催 ○民生委員から地域包括支援センターへ相談を繋ぐ際の、相談目安シートの運用(安田) ○ネットワークを活用した連携により、センター外の他機関の専門職とも協力して、個別ニーズに対応した支援を行う ○研修受講により職員のスキルアップを図る <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政との連携や重層的支援体制整備事業の活用 ○東部圏域の生活支援コーディネーターや民生委員、関係機関との協力体制の構築 ○サービス担当者や地域の支援者と繋がり、最新の情報を収集して相談事例への的確な対応ができる体制づくり <p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーターや民生委員、公民館や駐在署等との情報交換の実施 ○高齢者サロン等の地域活動に出向き、高齢者や関係者への聴取等から地域実態を把握する ○高齢者の食支援・買い物支援等のニーズ調査を、生活支援コーディネーターと協力して行う 	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンや百歳体操、民生委員定例会にて広報活動の実施 ・出張おでかけ公民館での啓発・総合相談(安田) ・相談目安シートの運用開始により、これまで相談が入ることが少なかった民生委員からも相談があった(安田) ・特に警察署や社会福祉協議会、医療機関、基幹相談支援センターと連携し、支援の対応をした ・研修受講(地域づくり、意思決定支援、アルコール関連問題支援、生活困窮、ヤングケアラー、感染症、難病、災害等) ・新規相談件数174件 対応総件数1,693件 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業を活用することはなかった ・生活支援コーディネーターと相互に協力し合う体制を築いた ・担当民生委員と連絡を取り合いながら、相談事例に対応した <p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンや百歳体操、公民館や民生委員定例会に出向き、地域状況の把握に努めた ・高齢者の食や買い物・通院を含むニーズ調査を、生活支援コーディネーターを中心にいった
高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談・通報への早期対応、益田市や関係機関との迅速なチーム支援の実施 <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護の観点での支援の充実 ○関係機関等と連携しながら、個別事例への対応 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者被害を予防する地域づくり <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護に関する各種制度の普及啓発を実施 	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談や通報時の迅速な情報収集を行い、高齢者虐待対応フローチャートに基づきチーム内での役割分担をして支援を迅速に開始する ○コア会議や権利擁護推進会議で関係職種と支援方針を検討 <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○益田市中核機関への相談や法律専門職との連携、成年後見制度利用の支援の実施 ○認知症疾患医療センターやサポート医との連携 ○認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携・協働 ○益田市権利擁護推進会議への出席 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者センターや警察署等の関係機関との連携 ○住民への消費者被害防止の普及啓発 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症高齢者の相談窓口であることの広報活動 ○住民へ認知症理解への普及啓発の検討と実施 ○地域活動等に出向き、権利擁護に関する各種制度の広報 	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートに基づき虐待対応を行いたかったが、迅速なコア会議開催や役割分担が行われず、対応に苦慮した事例があった ・虐待相談受付～通報 5件 <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度首長申し立てが必要なケースの支援について、市の方で該当ケースが多い等の理由から迅速な対応が得られず、警察や民生委員、当センターが昼夜問わず対応を要す事例があった ・認知症疾患医療センター受診への支援 ・研修受講(認知症、成年後見制度) ・益田市権利擁護推進会議への出席(7月、2月) <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害防止チラシの掲示やサロン等での配布 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者相談窓口のチラシ掲示やサロン等での配布 ・フレイル予防の講座の中に、認知症普及啓発を含めて実施
包括的・継続的ケアマネジメント事業	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステム充実のための、フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源担当者との連携体制作りと連携に関する課題の改善 <p>【介護支援専門員に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護支援専門員が抱える課題について後方支援 ○研修開催 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のケアマネジメント力向上のための連携 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会資源担当者との連携体制の維持・向上 ○総合事業の住民主体サービス担当者とのネットワーク強化 ○多職種間での意見交換の場を持ち、連携に関する課題整理と改善方法の検討 <p>【介護支援専門員に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護支援専門員からの随時の相談対応、ネットワークを活用しながら支援方法の検討、直接的・間接的な後方支援 ○ケアマネジメント支援研修の開催(研修委員会) <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケアマネジメント支援研修の協同開催(研修委員会) 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚障がい者の介護保険施設でのショートステイ利用に向けて相談支援事業所、ショートステイ事業所と検討・調整を重ねた結果、利用ができるようになり、実施事例となった ・移動販売や介護タクシー等のインフォーマルサービス担当者との顔合わせや連絡の実施 ・移動支援サービスに関する研修受講 <p>【介護支援専門員に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後方支援7件 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメント支援研修の開催(8月)

	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>○定例型・随時型圏域地域ケア会議の開催</p> <p>○地域課題について適切な会議体への繋ぎ</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>○4地区（安田・鎌手・種・北仙道）毎に民生委員や生活支援コーディネーター等の出席を得て地域ケア会議を開催し、地域課題の検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う</p> <p>○第二層協議体と合同で、各職（公民館長、地域魅力化応援隊、地域マネジャー、専門職）を招集した随時型圏域地域ケア会議を開催し、地域課題や検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う</p> <p>※今年度はこれまで課題として挙がっていた食支援と通院移動支援について、4圏域合同で検討や解決策の立案を進める</p> <p>○圏域地域ケア会議で挙げた地域課題で解決が困難な場合は、益田市地域ケア推進会議や各種会議体へ繋ぐ</p>	<p>【圏域地域ケア会議の開催】</p> <p>・種地区7月（独居男性高齢者のアウトリーチ）、安田地区9月（65歳未満の方の相談窓口）</p> <p>・第二層協議体と地域ケア会議を合同開催し、東部圏域4地区の通院支援に絞って検討（7回開催）。その関連で、総合事業訪問型サービスDに関する説明会開催（2回）。</p> <p>・山間部の配食サービスについて種地区の情報収集（冷食配達サービスの開始）</p>
介護予防ケアマネジメント事業	<p>【介護予防支援事業所の安定的運営】</p> <p>○心身の状況や置かれている環境に応じて自らの選択に基づいたサービス利用ができるよう、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施</p> <p>○総合事業利用の推進</p>	<p>【介護予防支援事業所の安定的運営】</p> <p>○自立支援に向けたケアマネジメントの実施</p> <p>○総合事業介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</p> <p>○益田市ケアマネジメント連絡会へ出席し、地域・高齢者支援事業について情報収集する</p> <p>○ケアプランデータ連携システム導入の検討</p> <p>○総合事業の実施主体との関係をつくり、ケアマネジメントに活用できる</p> <p>○公正性・中立性を保った居宅介護支援事業所へのケアマネジメント委託</p> <p>○委託居宅介護支援事業所への総合事業住民主体サービス等の活用の働きかけ</p> <p>○研修受講により職員のスキルアップを図る</p>	<p>【介護予防支援事業所の安定的運営】</p> <p>・運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施</p> <p>・種地区住民主体サービス担当者と連携、ケアプランへの位置付け</p> <p>・集団指導（3月）、ケアマネジメント連絡会（3月）へ出席</p> <p>・ケアプランデータ連携システム導入検討の進行はなかった</p> <p>・居宅介護支援事業所へケアマネジメント委託（人員減により利用者へ懇切な説明を行い、9月末に30件以上の新たな委託）</p> <p>・研修受講（感染症対策、難病、利用者誤認防止、災害支援、骨折予防、福祉用具）</p> <p>・運営指導</p> <p>・委託居宅介護支援事業所にも活用していただける、住民主体の通いの場の情報一覧を作成</p> <p>・年間実績件数 1,320件（内委託706件）</p> <p>内訳 介護予防支援:833件 介護予防ケアマネジメント:487件</p> <p>事業対象者:160件 要支援1:634件 要支援2:526件</p>
その他	<p>【介護予防】</p> <p>○フレイルの早期発見・早期対応</p> <p>【人生会議（ACP）】</p> <p>○地域住民へACPの推進</p> <p>【任意事業】</p> <p>○住み慣れた自宅生活継続のため、住宅改修の支援</p> <p>【その他】</p> <p>○運営に関する会議への出席</p> <p>○苦情への適切な対応</p> <p>○個人情報の保護と適切な取り扱い</p>	<p>【介護予防】</p> <p>○フレイル予防について住民への啓発活動</p> <p>○高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の取り組み</p> <p>○津田健康体操教室の自治会運営の後方支援（安田）</p> <p>○フレイル自己チェック表の配布（北仙道）</p> <p>○東部圏域サロン情報の集約と、ケアマネジャー等への情報提供</p> <p>【人生会議（ACP）】</p> <p>○益田市在宅医療介護連携支援センターが作成したパンフレットを用いた地域住民への啓発</p> <p>【任意事業】</p> <p>○住宅改修の相談・手続き支援</p> <p>【その他】</p> <p>○益田市介護保険推進協議会への出席</p> <p>○益田市地域ケア推進会議への出席</p> <p>○益田市地域ケア個別会議への出席</p> <p>○益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図る</p> <p>○苦情受付と職員間で改善への取り組みの検討</p> <p>○個人情報の漏洩がないよう業務環境の点検</p> <p>○地域での広報活動や講演依頼等の対応</p> <p>○島根県立石見高等看護学院講師</p> <p>○養護老人ホーム入所判定委員の委嘱</p>	<p>【介護予防】</p> <p>・高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の講座を実施</p> <p>・津田健康体操教室の後方支援の継続</p> <p>・フレイル自己チェック表の配布（北仙道、4月）</p> <p>・高齢者サロンや百歳体操を訪問し、情報の集約をした（一覧表の作成）</p> <p>【人生会議（ACP）】</p> <p>・パンフレットの配布</p> <p>【任意事業】</p> <p>・住宅改修の相談・手続き支援の対応</p> <p>【その他】</p> <p>・益田市介護保険推進協議会への出席（7,3月）</p> <p>・益田市地域ケア個別会議への出席（5,6,10,11,1月）</p> <p>・島根県地域包括支援センター連絡会への出席（6月）</p> <p>・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図った（5,7,9,12月）</p> <p>・苦情受付はなかった。</p> <p>・セキュリティに関する研修受講や書類発送時の二重チェック等で、漏洩防止の対策を取った</p> <p>・講演対応（安田・鎌手）</p> <p>・島根県立石見高等看護学院学生の地域包括ケアシステムのヒアリング対応</p> <p>・島根県立石見高等看護学院講師</p> <p>・養護老人ホーム入所判定委員の委嘱</p>

事業項目	令和6年度事業 重点項目	令和6年度 事業計画	実績報告
<p>総合相談支援事業</p>	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移設3年目。引き続き、センターの地域住民への周知継続 ・高齢者の身近な相談窓口として啓発の実施 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域関係機関との既存ネットワークの活用と社会資源を意識した新たなネットワーク構築への取り組み ・属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難という実情を踏まえ、重層的支援体制整の一翼を担う（「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」） ・インフォーマルサービスの把握、利用促進 <p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の生活環境の沿った地域実態の確認への取り組み ・益田市と連携し圏域の高齢者や地域の状況を把握する 	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの役割・機能周知の広報活動継続 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等を訪問し地域関係者との連携を図る ・インフォーマルサービスの把握、利用促進（民生委員・自治会・ボランティアなどインフォーマルな支援） ・ケースを通じた関係機関とのネットワークづくり ・行政との連携強化。地域生活支援係との協働（重層的支援体制整備） ・“ひとまる会議”開催要請、支援方針協議 ・個別相談事例を通じ、地域の高齢者や関係機関等における実態を把握し、対応への活用を図る ・生活支援コーディネーター、民生・児童委員、公民館、ボランティア団体、警察との連携 ・認知症カフェ、百歳体操、軽スポーツ教室、各地区イベントへの参加 ・益田市ニーズ調査の活用 	<p>引き続き当センターの周知広報に努めた。圏域内ショッピングセンター・金融機関・保健所・公民館などへチラシを配布、掲示いただく。実験的にポスティングを実施</p> <p>公民館訪問、地域行事・イベントへの参加、益田市保健センターの健康教室、益田市社会福祉協議会の講座・サロンなど参加し相談ブースを設け当センターの周知に加え、地域の課題・事例の発掘に努め、一定程度の成果はあったと考えている。今後も引き続き、地域住民、行政その他との連携を密にし、また、比較的協力的な民生・児童委員、自治会長などへの同行や自宅訪問など行い関係性醸成に努めた。</p> <p>個別の相談対応を通じ、医療・介護を中心とした行政をはじめとした関係機関、民生・児童委員および地域住民との連携は随時行っており、職員の退職が続き総合相談、介護予防支援・介護予防マネジメントに追われているのが実情であった。総合相談の複雑性、難度も高度となり時間の捻出も難しいところもあり、地域ケア会議（全圏域含めてのものではないが）も4月に1件実施のみに留まった。</p> <p>可能な限り、認知症カフェ、100歳体操、サロンなどへの参加をしている（約10ヶ所程度）</p> <p>【令和6年度実績】</p> <p>総合相談新規相談件数 総数:346件 28.8/月平均</p> <p>総合相談 総数:5646件 470.0/月平均</p>
<p>高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護</p>	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係機関からの相談や通報への適切な対応 ・益田市との協働による迅速な支援の実施 <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別事例に対する多角的視点でのチーム対応 ・関連専門職や関係機関との連携 ・日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業の推進、及び、日常生活自立支援事業より成年後見制度への適切な移行 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談事例を通じた消費者被害防止への対応 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症・権利擁護推進に関する各種イベントへの参加 	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次相談窓口として相談しやすい環境の構築 ・関係機関と相互に連絡、協力、支援が行える体制の構築（重層的支援体制整備） ・コア会議の開催要請、支援方針協議 <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市権利擁護推進会議への出席 ・益田市中核機関、認知症疾患医療センター、法律関係専門職との連携 ・認知症初期集中支援チーム活用 ・認知症地域支援専門員との関係づくり、連携・協働 ・益田鹿足成年後見センター定例会への参加 ・石西権利擁護推進センターとの情報交換体系の構築 ・権利擁護に関する業務、成年後見申し立て等のコンサルティングを行う事業所確保の是非、可否検討 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察、消費生活センター等関係機関との連携 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症関連の研修、イベントへの参加と関与 ・成年後見制度に関する研修、イベントへの参加と関与 	<p>高齢者虐待に係る相談・通報に対し随時対応を行った。医療機関、民生・児童委員、介護施設等より相談を受け、周辺状況に配慮しつつ行政と連携し進めている。</p> <p>地域包括推進係との協働、益田市コア会議、ひとまる会議での協議、検討など積極的に行い情報共有を行っている。認知症に関する圏域内の研修会には、ほぼ出席をしている。</p> <p>相談事例を通じて日常生活自立支援事業の検討、認知症疾患医療センターへの相談（トレジャー（水曜検討会））を積極的に行っている。</p> <p>11月より、益田鹿足成年後見センターへの定期参加を再開した。</p> <p>警察、消費生活センター等関係機関との連携を模索、会議や研修会など行い関係性の構築を図っている。</p> <p>成年後見制度の実務を行う法律関係専門職に対する後方支援も行っており、判断能力を欠く常況にある人への直接的、間接的支援を行っている。</p> <p>【令和6年度実績】</p> <p>高齢者虐待に係る対応件数 1件</p> <p>成年後見制度申請件数 4件</p>

<p>包括的・継続的ケアマネジメント事業</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・医療、介護、障害、生活困窮等の各分野の関係機関との相互関与（地域住民や多様な主体が協働して地域福祉を推進・地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制の見直し） 【介護支援専門員に対する支援】 ・介護支援専門員からの相談や個別支援の実施 【主任介護支援専門員との連携】 ・地域におけるケアマネジメントの実態把握と改善を共同する 【圏域地域ケア会議の開催】 ・定時型圏域地域ケア会議実施に向けた環境整備 ・随時型圏域地域ケア会議の実施</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・入退院、入退所時の連携 ・医療機関、介護施設、障害者施設、生活困窮分野等からの相談への対応（分野横断的に多機関での対応） 【介護支援専門員に対する支援】 ・支援困難事例についての相談、同行訪問等の後方支援を行う ・ケアマネジメントの質の向上に対する必要な支援を行う ・ケアマネジメント支援研修会の開催（研修委員会、島根県介護支援専門員協会） 【主任介護支援専門員との連携】 ・介護支援専門員への研修や相談を協働・協同する 【圏域地域ケア会議の開催】 ・個別ケースを通じた随時型圏域地域ケア会議の開催 ・定時型圏域地域ケア会議に必要な環境の検討と準備継続（圏域4地域毎の開催を目指す）</p>	<p>令和4年4月の開設以降、医療機関や介護関連施設、障がい分野関係機関より随時相談を受け対応している。ひとまる会議やコア会議など開催し情報共有や具体的対応の検討を行っている。高齢者の対応のみならず、増加している複合的・重層的・多様性のある複雑化する問題を抱える世帯に対して支援を分野横断的に多機関で連携や支援を理解、促進するべく努力をしており、きたるべき包括的支援体制整備と重層的支援体制整備事業への備えを強く意識し業務に取り組んでいる（令和7年度益田市組織改編により新設される、総合支援課との）。 介護支援専門員からの相談に対し、3専門職が必要な助言や同行訪問等を行い対応している。主任介護支援専門員が他包括支援センターと連携し、地域におけるケアマネジメントを意識した研修の計画、実施を行っている。 地域柄、圏域内での共通課題の抽出は困難であるため、当面は、各地区（4地区）において地域ケア会議を行っていくこととしている。適宜、各公民館との連携の中で実施に向け検討・調整を行っている。</p>
<p>介護予防ケアマネジメント事業</p>	<p>【介護予防支援事業所の安定的運営】 ・適切かつ安定した介護予防支援、介護予防ケアマネジメント支援の実施に向けた環境の整備を行う ・総合事業利用の適正な利用 ・スタッフの確保</p>	<p>【介護予防支援事業所の安定的運営】 ・介護予防支援と委託居宅介護支援の質・量における適正化を図る ・益田市高齢者福祉課との連携強化 ・委託居宅介護支援事業所との連絡・連携体制の構築 ・効率的な業務遂行のためのソフト・ハード面の整備を行う ・ケアプランデータ連携システムの導入に向けた情報収集</p>	<p>令和4年4月の開設以降、介護予防支援事業所の実務を粛々と行っているが、総合相談共に人員不足にて、タイムリーな対応、職員の質・量の確保に極めて難渋している。委託居宅介護支援事業所との連携も分離前の事務処理を踏襲し各種請求業務など大きな問題もなく行うことができているが、要支援、事業対象者の受け皿が絶対的に不足しており、そういう意味では対応に難渋しているといえる。行政との協働が不可欠・不可避</p> <p>【令和6年度実績】 介護予防支援事業取扱件数:2018件 /168.2件/月平均(うち委託:1267件 105.5/月平均) 介護予防ケアマネジメント事業取扱件数:537件 44.7件/月平均(うち委託:294件 24.5件/月)</p>
<p>その他</p>	<p>【任意事業】 ・住み慣れた場所で自分らしい暮らしを継続できるよう支援する 【その他】 ・地域包括支援センター運営関連会議への参加 ・ACPの啓発 ・スタッフ確保</p>	<p>【任意事業】 ・住宅改修の支援、福祉用具購入、介護保険外サービス・ボランティア利用促進 【その他】 ・益田市介護保険推進協議会出席 ・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議出席 ・益田市地域ケア推進会議出席 ・益田市地域ケア個別会議出席</p> <p>・ACP資料を利用し地域住民への啓発活動を行う</p> <p>・スタッフの質・量的な確保</p>	<p>地域包括支援センター連絡会に定期的に参加し、各地域包括支援センター及び行政との情報共有や連携を図っている。 管理者は各会議に出席し、センターの実情について報告を行い今後の課題抽出、顕在化に努めているとともに、各専門職は各種研修等に参加し資質向上に努めている。 各公民館訪問、地域行事・イベント・サロンなど積極的に参加している。当センターチラシ、ACP資料配布し説明を行っている。 残念ながら、職員の確保が充分にできず、質・量共マンパワー不足といわざるを得ない状況にて、厳しい状況は継続している。組織内職員・有資格者から希望者を募る、教育プログラムを作るなど人材教育・育成も含め体系立てた。 益田市医師会訪問看護ステーションと“みんなの保健室”共催 →訪問看護スタッフ減などの理由により中断 益田医師会病院医療介護連携統括部の行っている“あんきな座談会”を利用し地域の勉強会・講演・セミナー等計画している（12月実施予定）。当センターチラシ、ACP資料配布。 生活支援体制整備事業、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりのため、第1層・第2層会議に参加し、生活支援コーディネーターと協働しイベント、ボランティア活動等へ参加している。</p>

事業項目	令和6年度事業の重点項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 下半期実績報告
<p>総合相談 支援業務</p>	<p>【総合相談】 地域住民等すべての人々の人権と尊厳を尊重して、本人の自己決定と自己選択に配慮した相談支援を行う。 特に、認知症の方やそのご家族への相談や周知活動、フレイル予防の相談や周知活動に取り組む。 また、多様化・複雑化する地域課題や生活課題を適切に把握できるよう、関係機関と連携して取り組むとともに、各種研修会等に参加し、自己研鑽や情報収集を図る。</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 圏域の公民館、サロン、各種会議に参加させて頂き、センターの業務の周知を図るとともに、地域課題の把握や解決に取り組む。 また、小集会所単位にケアパスを持って「楽しく」をモットーに認知症の取り組みの啓発活動を行いながら、ネットワーク構築を図る。</p>	<p>【総合相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチによる丁寧な相談対応 ・益田市認知症ケアパスの活用 ・圏域へのチラシやカレンダー等の配布 ・障害福祉サービス等他制度利用者や 8050 等重層的な課題を抱える方への相談支援を関係機関と実施 ・重層的なケースや困難ケースなど事例提出を行いひとまる会議での相談や活用 ・早助など活用して独居者の安心への支援 ・支援会議（社協主催も含む）などに参加 ・水曜ケース検討会や弁護士相談会等への参加 ・相談面接技術や認知症、フレイルについての研修会等への参加 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域公民館や社会福祉協議会との連携（行事予定を事前に把握し計画的に参加し交流を図る） ・益田保健所と連携し病気を抱える方達の集いの場所などの活用 ・民生委員との顔の見える関係づくり（新体制となる民生委員との交流の機会） ・圏域サロンや集い、認知症カフェ、百歳体操等への参加、周知活動 ・行政の各課との連携 	<p>【総合相談】</p> <p>新規相談件 184 件（内電話 161 件）相談形態 電話 87% ⇒訪問しての件数 116 件</p> <p>男性：43% 女性：57% 不明：1% 後期高齢者 79%</p> <p>独居または高齢者のみの世帯 53%</p> <p>介護保険サービスを紹介し解決出来た等、相談のあった月で解決したケースは 32%</p> <p>権利擁護や認知症、家族支援等、解決を相談受付次月以降に持ち越すケース 68%</p> <p>・多様化・複雑化に関連し困難なケースが増えてきている。相談受付次月以降に持ち越すケースが 68%と半数を超えている。R6 年度も関係機関と連携して早期解決に向け努力していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早助申請援助 ・支援会議参加 10/30 11/8 2/21、2/27、 ・複合化・複雑化した課題を抱える世帯支援研修 11/29 ・身寄りのない人が安心して暮らせるまちづくりワークショップ 11/11 ・身寄りのない独居老人・虐待ケース・困窮者世帯・重層化世帯など情報提供や共同作業を地区の民生・児童委員さんと共に行う ・困難事例による支援会議参加 12/20 ・ひきこもり支援研修「ひきこもりの子を持つ親の生活生計」12/3 ・生活困窮者自立相談支援事業研修 1/17 ・水曜ケース会議参加 3/5 <p>【地域包括支援ネットワーク構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃地区高齢者の集会に参加 1/20 ・ささえあいフォーラム 11/21 ・二条ふれあい祭り出店 10/26 ・地域共生社会推進セミナー 11/15 ・認知症サポーター研修に参加し小野地区の住民の健康と生活相談を行う 2/12

	<p>【実態把握】</p> <p>圏域公民館や民生委員、生活支援コーディネーターから、地域住民の抱える課題を情報共有し、実態を把握していく。</p>	<p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二層協議体と連携し圏域6ヶ所の公民館への訪問、情報交換 ・行政機関からの情報収集、地域の実態や課題の把握 ・障がい者の益田市基幹相談支援センターとの情報交換 	<p>【実態把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二層協議体（小野地区）参加 10/18 ・ “ ” （高津地区）参加 12/18 ・ “ ” （美濃地区）参加 3/24 ・基幹相談との情報交換及び同行 12月初旬、2/27
<p>高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護業務</p>	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <p>相談、通報があった時点で、地域包括推進係と連携し、初動期対応、協働、早急な終結に向け取り組む。</p> <p>また、未然防止のため、地域での周知活動に取り組む。</p> <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</p> <p>高齢者の成年後見制度の利用、日常生活自立支援事業の活用、また、認知症の方やその家族から相談に、関係機関と連携しながら対応する。</p> <p>特に、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、認知症カフェのような、アットホームで楽しい啓発活動に取り組む。</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <p>個別の事例に対し、被害回復や再発防止に向け、関係機関と連携し相談対応を行うとともに、防止に向けた周知活動に取り組む。</p> <p>【広報・啓発活動】</p> <p>高齢者虐待の防止や成年後見制度・日常生活自立支援事業の紹介、消費者被害の防止のため、周知活動を行う。</p>	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待または疑われる事例への迅速な対応 ・虐待防止コア会議への事例提出、支援体制検討 ・虐待防止研修会等への参加 ・集いの場等での周知活動 <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見についての相談には、地域包括推進係や益田・鹿足成年後見センターと連携して対応 ・日常生活自立支援の相談については、社会福祉協議会と連携して対応 ・障がい者については益田市基幹相談支援センターなどとの連携 ・圏域のサロンや集いに出向き啓発活動や相談支援に取り組む ・地域の認知症カフェへの参加・交流 ・キャラバンメイト研修等の受講 ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員との連携 ・益田鹿足成年後見センター運営会議・定例相談会への参加 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者センターや消費生活センターと連携し対応 ・弁護士による無料相談活用への支援 ・集いの場等で予防のための周知活動 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにセンターの周知に合わせ、認知症の理解や権利擁護についての紹介のチラシ等作成、配布 ・地域の各機関と連携し、様々な機会を通じ、情報発信 	<p>【高齢者虐待への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権週間の法人内研修：高齢者虐待について 12/4・5・10 ・ケース個別会議（要介護者からの虐待について） 12/18 ・コア会議参加 12/18 ・介護者からのネグレクト虐待1件（継続中） ・高齢者虐待と成年後見制度に関する研修会参加 3/19 ・高齢者身体拘束廃止研修 1/14・2/10 ・高齢者虐待防止研修 11/7 <p>【判断能力を欠く状況にある人への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブル研修 ・益田・鹿足成年後見センター定例会への参加 10/16・11/20・1/15・3/19 ・認知症介護研究・研修センター 研究成果報告研修 1/14 ・知られざる脳機能の可能性を探る（研修） 12/1 ・益田市基幹相談支援センターとの同行訪問、連携 ・法人・認知症地域医療連携会議・サポートフォローアップ研修会 2/2 <p>内での認知症カフェ開催検討会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター研修（飯浦地区） 2/12 ・権利擁護推進会議 2/14 ・成年後見制度啓発講演会参加 3/8 ・認知症の方の相談対応件あり、市の地域支援推進員と協力して取り組むケースがあった。 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害防止のチラシなど利用者に配布 12月～ ・弁護士による無料相談活用 ・NPO法人消費者ネットしまね学習交流会参加 1/27 ・消費者被害の現状と対処の仕方について 2/3 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部包括グッズ配布 ・益田市民参加による福祉公開講座開催 1/20 ・益田市ボランティア交流会参加 3/18

<p>包括的継続的 ケアマネジメント 支援業務</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 介護支援専門員やサービス提供事業者、行政機関、民生委員、インフォーマルな支援者等とのネットワークの構築をする。 また、日頃の相談や地域ケア会議の検討内容から、地域の現状を把握するとともに、第二層協議体の生活支援コーディネーターとも連携し、地域課題を把握する。 介護支援専門員との連携を深めるため、各事業所に訪問し、意見交換の機会を設け、地域包括ケア推進のための連携を深める。</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 利用者にとって最善のケアマネジメントが提供されるよう、介護支援専門員に寄り添い、事例ごとに指導や助言を行う。 また、ケアマネジメント支援研修を市とともに開催し、ケアマネジメントの質の向上を図る。</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】 各事業所の主任介護支援専門員と連携し、介護支援専門員等の知識、技術の向上を図る。 また、主任介護支援専門員同士で協力し、指導力向上、共通理解、地域づくりを行う。</p> <p>【地域ケア会議】 地域ケア個別会議や西部地域ケア会議で事例検討等を行い、地域課題を把握する。また、益田市地域ケア推進会議へ地域課題をつないでいくとともに、関係機関や地域住民とのネットワークを強め、協働して体制作りを行う。</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・ 居宅介護支援事業所やサービス提供事業者等と、顔の見える関係作り ・ 介護支援専門員との信頼関係作り、交流 ・ 介護支援専門員連絡会への参加 ・ まずだ福祉医療ネットワークへの参加(奇数月) ・ 介護予防ケアプランのチェック時等の機会を有効に活用し、介護支援専門員や介護予防支援員から地域住民の抱える課題を情報収集 ・ 益田市地域ケア会議、地域ケア個別会議への参加(開催月)</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 ・ 介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価 ・ 援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援 ・ ケアマネジメント支援研修の企画、案内(知識習得研修は5つのセンターで担当)</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】 ・ ケアマネジメント支援研修会の協働企画運営 ・ 主任介護支援専門員フォローアップ研修会の企画運営 ・ 主任介護支援専門員との連携により地域の介護支援専門員等のケアマネジメント実践を支援する ・ 研修会や会議への参加を通じ、連携強化</p> <p>【地域ケア会議】 ・ 地域ケア個別会議で、自立支援・重度化防止に取り組むとともに、地域課題を把握する。 ・ 西部地域ケア会議を随時型で開催 ・ 事例に合わせ、柔軟に参加者を調整し、多様な意見を出し検討 ・ 圏域の公民館や第二層協議体と連携し開催</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】 ・ ケアプラン確認により委託居宅介護支援事業所との情報提供や情報収集を行うなどして連携を図った 10月：21件 11月：19件 12月：23件 1月：15件 2月：18件 3月：16件 ・ 益田市在宅医療・介護連携推進協議会参加 2/18 ・ まずだ福祉医療ネットワークへの参加 11/20 ・ SV型ケアマネジメント研修 11/18 ・ ケアマネジメント研修～ケアを担う子どもを地域で支えるためにケアマネジャーができる支援を考える～ 2/19 ・ 益田市地域ケア個別会議 1/31</p> <p>【介護支援専門員に対する個別支援】 ・ 介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価 ・ 援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援 ・ ケアマネジメント支援研修の企画、案内</p> <p>【主任介護支援専門員との連携】 ・ SV型事例検討会 11/18・12/9 ・ 「人を支える、利用者・その家族を支える」 12/14</p> <p>【地域ケア会議】 ・ 社会福祉協議会主催による地区の公民館での会議に参加 ・ 小野地区公民館 10/18 ・ 高津地区公民館 12/18 ・ 美濃地区公民館 3/24</p>
<p>介護予防ケアマネジメント事業</p>	<p>利用者とともに、自立を支援し、自己決定と自己選択に配慮したケアプランを作成する。 また、地域の様々な社会資源を可能な限り情報収集して活用し、地域での生活を支援するプラン作成を行う。 利用者の人権と尊厳を尊重できるよう、各種研修会に参加しスキルアップするとともに、多職種、関係機関との連携を大切にする。</p>	<p>・ 介護予防給付及び介護予防・日常生活支援総合事業のケアマネジメントの実施 ・ 益田市地域支援事業及び益田市高齢者支援事業の活用支援 ・ 自立支援に向けたケアプラン作成 ・ インフォーマルな社会資源を活用したプラン作成 ・ 介護予防やケアマネジメントについての会議や研修会等への参加 ・ ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加 ・ 多職種、関係機関との連携</p>	<p>・ 事業対象者のプラン 204件(内委託 54件) ・ 介護予防支援、介護予防ケアマネジメント 1,997件(内委託 977件) ・ 委託事業所 市内 15事業所 ・ 介護予防ケアマネジメント</p>

<p>その他</p>	<p>住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう。</p> <p>石見高等看護学校の授業、実習のスムーズな受け入れ。</p> <p>公民館や協議体と連携して、各地域の実態を把握し、地域で包括的ケアをどう作っていけるか協働していく。</p> <p>地域包括ケアシステムのための取り組みを行う。</p> <p>地域包括支援業務遂行のための各種会議、研修会等への参加を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修の支援 ・認定調査の受託 ・地域交流の機会へ積極的に参加 ・社会資源の開発や地域自治組織との連携 ・益田市介護保険推進協議会、益田市地域ケア推進会議への参加 ・在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会への参加 ・益田市地域包括支援センター連絡会への出席 ・益田圏域地域包括支援センター連絡会への出席(開催月) ・地域包括支援業務遂行の為の各種会議への参加 ・島根県立石見高等看護学院の生徒実習受け入れ ・島根県立石見高等看護学院講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修 ・認定調査の受託 ・配食サービス申請援助 ・ふれあい収集申請援助 ・認定調査員現任研修 10/21～11/20 ・在宅高齢者による感染症の勉強及び対応研修 1/25・2/12 ・益田市介護保険運営協議会参加 3/27 ・益田市地域包括支援センター連絡会への出席(1回/3ヶ月) ・石見高等看護学校学生実習開始 1/10～ ・石見高等看護学校講義 11/20 ・福祉人材確保に関わる作業部会参加 ・NPO法人えびす運営推進会議参加 12/25 ・えびす運営推進会議 12/25 ・益田市在宅医療・介護連携推進協議会参加 2/18
------------	---	--	--

事業項目	令和6年度事業の重点項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 実績報告
<p>総合相談 支援業務</p>	<p>【総合相談】 ・地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう様々な相談を受け付け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用に繋げる等の支援を行う。また、継続的フォローを行うことで困りごとの解決に向けた対応を行う。 ・複合化・複雑化した課題に対し、地域共生社会の観点に立った包括的な支援を行う。</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・様々な相談に対応できるよう、医療や介護・高齢・障害・地域福祉等の複数の分野に関する情報の収集・整理・把握を行なうとともにネットワークの構築に努める。</p> <p>【実態把握】 ・支援が必要な人を発見するとともに、地域ごとの課題やニーズの把握を行なう。</p>	<p>【総合相談】 ・相談対応の充実（窓口・訪問・関係会議や地域事業等への参加による相談受付や対応） ・チラシ等の配布や掲示等による相談窓口の周知 ・他の相談支援を実施する機関との連携</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・地域ケア会議、関係会議や地域事業等を通じた情報の収集・整理・把握（美都地区民生児童委員協議会定例会・地域サロン・美都圏域第2層協議体・社会福祉協議会関係会議等） ・各関係機関や民生委員、インフォーマルサポート関係者等とのネットワーク構築</p> <p>【実態把握】 ・地域ケア会議や第2層協議体・第2層生活支援コーディネーターとの連携等を通じた社会資源・地域課題等の把握 ・関係会議や地域事業への参加等を通じた支援が必要な人の発見・地域課題やニーズ等の把握</p>	<p>【総合相談】 ・第2層生活支援コーディネーターを通じて、地域サロンへ8ヶ所訪問・美都地域のサロン交流会への参加等を行い、地域住民の方との顔が見える関係づくりやセンターの周知活動を行った。 ・総合相談新規相談件数：56件 延べ対応件数：233件（別紙①） ・令和6年7月より職員体制が1.5名となった。居宅介護支援事業所と兼務の職員が、主任介護支援専門員の資格取得の研修を修了。修了後、総合相談の対応の際に一緒に訪問するなどし、スキル習得に努めている。</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・地域ケア会議の開催（10回）、地域サロンへの訪問（8ヶ所）、美都圏域第2層協議体への出席（5回）、社協事業説明会への出席にて連携を図り、各関係機関やインフォーマルサポート関係者等とのネットワーク構築に努めた。 ・美都地区民生児童委員協議会定例会へ参加しての意見交換等を行うことはできなかったが、総合相談での個別事例への対応の際に、担当地区の民生委員と情報共有等にて連携した。</p> <p>【実態把握】 ・地域ケア会議（10回）や第2層協議体（5回）・第2層生活支援コーディネーターとの連携・関係会議等への参加等を通じた支援が必要な人の発見・社会資源や地域課題等の把握に努めた。</p>
<p>権利擁護業務</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・高齢者虐待対応について、益田市高齢者福祉課や美都地域総務課等との連携を図り、初動期から終結までの対応や支援を迅速に行なう。</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・セルフ・ネグレクト状態にある高齢者等に対して緊急性の判断を行いつつ、医療・介護・福祉サービス等の支援を行う。 ・日常生活自立支援事業の相談について、社会福祉協議会と連携しながら対応し、自立生活の継続に向けて援助を行う。 ・成年後見制度利用相談について、迅速にサポートできる体制を整</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・高齢者虐待または疑われる事例への対応 ・益田市権利擁護推進会議への出席（開催月） ・島根県高齢者虐待対応専門職チームとの連携 ・虐待対応に関する研修会への参加 ・虐待防止に関する内部研修会の実施</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・セルフ・ネグレクト状態にある事例への対応 ・日常生活自立支援事業の利用についての相談対応 ・成年後見制度の活用についての相談対応 ・認知症高齢者等、高齢者の権利擁護に関する事例への対応 ・益田・鹿足成年後見センター定例相談会への出席</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・虐待が疑われるケースとしての通報件数は、昨年度同様0件であった。（別紙②） ・益田市権利擁護推進会議への出席（7月・2月） ・令和6年度高齢者虐待防止研修への参加（12月） ・虐待防止に関する内部研修会の実施（7月）</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・日常生活自立支援事業の利用についてや成年後見制度の活用についての相談対応件数は0件であった。 ・認知症支援に関する相談件数2件。専門医の受診歴がなかったケースは専門医の受診へ繋ぎ、受診後のフォローを実施。 ・権利擁護に関する研修会への参加（9月）</p>

	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関・多職種との連携による支援が十分に行えるよう、会議や研修等を活用して情報の共有や関係づくりを図る。 ・美都地域ケア会議において、認知症の方への対応についての検討を行い個別事例への対応を行う。 ・認知症に関する普及啓発を行いながら個別事例への対応を行っていく。 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携のもと、消費者被害情報の把握を行い、情報伝達と適切な対応により被害を未然に防ぐよう支援を行うとともに、被害回復のための関係機関に繋ぐ。 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図りながら、虐待・消費者被害・認知症の方への理解・日常生活自立支援事業・成年後見制度等の啓発等を行い、権利擁護に関する支援が必要な方への早期対応が行えるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する研修会への参加 ・認知症予防の啓発と認知症相談窓口の周知 ・益田市認知症ケアパスの活用 ・認知症初期集中支援チームとの連携 ・認知症高齢者・若年性認知症の支援等に関する研修会への参加 <p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害に関することについての啓発・相談対応 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議・関係会議や地域事業等を通じた権利擁護に関する広報・啓発活動 	<p>【消費者被害の防止及び対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センター連絡会議にて、益田市消費生活センターより情報提供(12月) ・益田市消費生活センターから提供があった詐欺被害に関する啓発チラシを地域サロン訪問時に配布し、注意喚起を行った。 <p>【広報・啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図りながら、権利擁護に関する啓発を適宜実施。
<p>包括的・継続的 ケアマネジメント 支援業務</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における包括的・継続的ケアを実施するため、地域ケア会議を通じ、美都地域の福祉関係者間の協働型ネットワークの構築を図り、地域の介護支援専門員と関係機関との連携を支援する。 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、関係機関と連携を図りながら具体的な支援方針を検討し、助言等を行う。 ・介護支援専門員が地域の様々な社会資源を活用できるよう、地域との連携を図りながら社会資源の把握を行い、必要に応じた情報提供を行う。 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員が中心となり、介護支援専門員との連携を図りながら、支援を必要とする方に対し、介護支援専門員等が包括的・継続的ケアマネジメントの実践ができるよう環境づくりを行なう。 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議や個別相談等を通じた関係機関等との連携における介護支援専門員のニーズ把握 ・益田市地域ケア推進会議への出席（開催月） ・益田市地域ケア個別会議への出席（開催月） ・益田市社会福祉協議会事業説明会への出席(開催月) ・行政保健師との連携による、個別事例への対応支援 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員が抱える困難事例についての後方支援(支援方針の検討・助言・地域ケア会議等を通じた対応方法の検討等) ・介護支援専門員連絡会への出席（開催月） ・益田市ケアマネジメント支援研修企画・運営 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員フォローアップ研修への出席(開催月) ・主任介護支援専門員を中心とした介護支援専門員との連携強化 ・美都地域におけるケアマネジメントの課題の把握 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を通じ、福祉関係者の協働型ネットワークの構築を図り、地域の介護支援専門員と関係機関との連携支援を実施。 ・地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、関係機関と連携を図りながら具体的な支援方針の検討が行えるよう、【随時型】地域ケア会議開催の体制を整備。 ・益田市地域ケア個別会議への出席（5月・8月） ・益田市社会福祉協議会事業説明会への出席(7月) ・個別事例について、適宜行政保健師と連携し対応。 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の介護支援専門員等から相談を受け付けた際には、随時助言を実施。 ・美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ社会資源・地域課題等についての情報提供の実施。 ・ケアマネジメント連絡会への出席(3月) ・益田市ケアマネジメント支援研修企画・運営(8月・11月・2月) <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員フォローアップ研修への出席(2月) ・主任介護支援専門員が中心となり、美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ美都圏域在住の方のケアマネジメントを行うにあたり困っていること等の把握を行った。

<p>介護予防ケアマネジメント</p>	<p>【予防給付のマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防給付（要支援1.2）における適切なサービス提供がなされるようマネジメントを行う。 ・介護予防に資する保健医療サービス又は、福祉サービスの適切な利用により、現在の状態の維持・改善が図れるよう支援を行う。 <p>【事業対象者及び要支援1.2の介護予防ケアマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業（事業対象者、要支援1および2の認定保持者で総合事業のサービスのみの利用者）における適切なサービス提供がなされるようマネジメントを行う。 ・日常生活支援総合事業の概要・介護予防ケアマネジメントの基本的な考え方となる『自立に向けた介護予防と生活支援への取り組み』について地域住民の方々に説明を行いながら、サービスの維持向上を図る。 	<p>【予防給付のマネジメント業務・事業対象者及び要支援1.2の介護予防ケアマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防給付のケアマネジメント、介護予防・生活支援サービス事業の介護予防ケアマネジメントの実施 ・益田市地域支援事業および益田市高齢者支援事業の利用者支援業務 ・行政保健師等との連携による個別事例への支援 ・ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加や主任介護支援専門員による助言等の実施 ・介護予防・日常生活支援総合事業に関わる会議や研修への参加 	<p>【予防給付のマネジメント業務・事業対象者及び要支援1.2の介護予防ケアマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援給付管理件数：110件（別紙③） ・介護予防ケアマネジメント給付管理件数：215件（別紙④） ・研修への参加（別紙⑤） 介護報酬改定(4月)・ますだ福祉医療ネットワーク(5月・7月・9月・11月)・主任介護支援専門員研修(8月・10月・11月・12月)・益田市ケアマネジメント支援研修(8月・11月・2月)・意思決定支援(9月)・複合化・複雑化した課題を抱える世帯支援(11月)・生活困窮者自立支援(1月)等。 ・介護保険サービス事業者等集団指導への出席(3月)
<p>圏域地域ケア会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議での事例検討を積み重ねる中で、ケアマネジメント支援、地域課題の把握・整理を行なう。また、地域課題に対する対応策について、関係機関と連携を図りながら地域でできる取り組みについての検討・実施を行なう。 ・地域ケア会議で整理された地域課題について、美都圏域第2層協議体や益田市地域ケア推進会議等へ繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美都地域ケア会議 定例型（9月・3月を除く毎月）と随時型（必要時）の開催 ・益田市高齢者福祉課、美都地域総務課、社会福祉協議会美都支所、益田保健所等との連携による地域ケア会議の実施 ・地域ケア会議で把握・整理を行った地域課題に対する取り組みの実施 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携強化による地域課題への取り組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・美都地域ケア会議 定例型:10回開催 随時型:未開催（別紙⑥） ・地域課題に対する取り組みとして、美都地域ケア会議にて作成した「わたしのあゆみ」を活用していただけるよう、地域サロン訪問時等に紹介を行った。また、「交通手段・移送について、分かりやすい形での社会資源の見える化を図る」についても取り組んでいる。 ・リハビリについての理解を深めるための勉強会を開催。
<p>任意事業・その他</p>	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援又は居宅介護支援の提供を受けていない要支援又は要介護認定者に対する住宅改修支援を行なう。 <p>【業務に関係する関係各機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの業務遂行や機能強化を図る上で必要となるネットワークを形成していくためには、関係機関の取り組みについての理解が必要となる。よって関係機関の主催する会議および研修に積極的に参加することで、業務における資質向上に繋がっていく。 	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修の利用支援 <p>【行政が主催する会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市地域包括支援センター連絡会議（開催月） ・益田市介護保険推進協議会（開催月） ・益田市地域ケア推進会議（開催月） ・益田市権利擁護推進会議（開催月） ・益田市地域ケア個別会議（開催月） <p>【他機関が主催する会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田圏域地域包括支援センター連絡会（開催月） ・グループホーム運営推進協議会（奇数月） ・地域密着型サービス運営推進会議（年2回） ・ますだ福祉医療ネットワーク会議（開催月） ・美都圏域第2層協議体（奇数月） 	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修の利用支援：1件 <p>【行政が主催する会議】（別紙⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市地域包括支援センター連絡会議（5月・9月・12月） ・益田市介護保険推進協議会（7月・3月） ・益田市権利擁護推進会議（7月・2月） ・益田市地域ケア個別会議（5月・8月） <p>【他機関が主催する会議】（別紙⑦）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム運営推進協議会（4月・6月・8月・10月・12月・2月） ・地域密着型サービス運営推進会議（10月・3月） ・ますだ福祉医療ネットワーク会議（5月・7月・9月・11月） ・美都圏域第2層協議体（5月・7月・9月・11月・3月）

事業項目	令和6年度事業の重点項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 実績報告
<p>総合相談 支援業務</p>	<p>【総合相談】 ・地域住民等に「身近な相談窓口」として気軽に利用してもらえるよう、窓口の周知啓発や情報発信等を継続する。 ・地域住民や地域の関係者、専門機関などと協力して、高齢者や家族等が支援を求める声を上げやすい環境づくりに取り組む。高齢者本人やその家族の孤立を防ぎ、必要なサービスや支援につなげる。</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・地域の様々な関係者や関係機関、地域住民等と、支援ネットワークの必要性の共通理解をはかり、活用できるネットワークを構築する。</p> <p>【実態把握】 ・地域のネットワークや高齢者が集まる場を活用し、高齢者の生活の実態把握をおこない、支援が必要な場合は早期に関わりを進める。 ・総合相談業務を通じて、個人や地域にどのような課題や傾向があるのか把握する。</p>	<p>【総合相談】 ・地域住民や地域の関係者や関係機関が集う機会や地域の情報誌などを活用し、センターの業務周知や利用促進などの啓発活動を継続する。 ・受け付けた相談ケースを適切なサービス・制度の利用や専門機関につなげる等の支援をおこなう。 ・家族介護者に対し適切な情報等を提供し、介護負担の軽減や離職防止等に向けた支援をおこなう。</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・公民館や駐在所、民生委員などがそれぞれの職務を通じて見つけた気になる高齢者について、関係者が集まり話し合う場を設け、関係者がチームとして支援にかかわるような体制づくりに取り組む。</p> <p>【実態把握】 ・高齢者が集まる場での相談を通じて生活等の実態把握をおこなう。 ・総合相談として受け付けた内容や相談経路などを集計分析し、センターの周知状況や地域課題の把握に活かす。</p>	<p>【総合相談】 ・新規件数 39件(別紙①)、前年度からの継続件数 1件、相談終結件数 28件、対応延べ件数 165件 ・ひきみふくしだより、オーラルフレイル予防啓発チラシの紙面及び百歳体操教室等など住民集いの場にて相談窓口を周知</p> <p>【地域包括支援ネットワーク構築】 ・受診等で石見交通を利用しているが、匹見線廃止に係る説明会に参加できなかった住民からの相談内容を公民館へ伝え、代替交通の利用が安心してできるよう公民館職員等とともに対応</p> <p>【実態把握】 ・百歳体操教室への参加、公民館訪問などを通じて地域の情報を収集</p>
<p>権利擁護業務</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・通報受付後の初動期から終結までの対応や支援は、匹見地域総務課や高齢者福祉課との連携・協働を基盤とし、事例に関係する各機関と援助関係を構築しながらおこなう。</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・必要な支援や受診等を拒否するセルフネグレクト状態の人や認知症の症状がある人などの対応について、匹見地域総務課や関係機関と協働しながら支援する。</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・消費生活センターや駐在所等と連携して、地域における消費者被害に関する情報を把握し、地域へ情報提供をおこなう。関係者等と適宜連絡を取り合い対応する。</p> <p>【広報・啓発活動】 ・虐待や消費者被害の早期発見や、日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用などの関する情報を地域に発信し、権利を守る意識を高めるとともに、相談窓口の周知をはかる。</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・市の高齢者虐待防止対応マニュアル等に従い、匹見地域総務課や高齢者福祉課と連携して対応する。また、事例に関係する各機関からの情報等を集約し、対応の方向性の共有をはかる。 ・益田市権利擁護推進会議への出席、虐待対応に関する研修会への参加を通して、関係機関等とのネットワークづくりをおこなうとともに、高齢者虐待対応をおこなう専門職としてのスキルアップをはかる。</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・福祉委員や民生児童委員等へ協力を仰ぐなど、地域全体で支援する視点をもって対応する。 ・関係機関と連携し、認知症ケアパスを活用した対応や日常生活自立支援事業の利用や成年後見制度の活用につなげる。 ・認知症や権利擁護に関する会議や研修会への参加を通して、関係機関等とのネットワークづくりに取り組む。また、権利擁護業務を担う機関としてのスキルアップをはかる。</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・適宜、駐在所などと情報交換し、地域住民、福祉委員、民生児童委員、介護支援専門員、訪問介護員等に必要な情報提供をおこなう。</p> <p>【広報・啓発活動】 ・高齢者や家族、地域住民等から虐待や消費者被害などについての相談や情報もたらされるよう、駐在所と連携しながら、サロンや健康教室などでの周知・啓発活動をおこなう。 ・チラシの配布や講話の実施、認知症サポーター養成講座の開催など、認知症などに関する正しい情報を伝える活動を行い、地域の権利擁護意識の醸成と共有をはかる。</p>	<p>【高齢者虐待への対応】 ・通報実績はないが相談実績(1件)あり。相談者と高齢者福祉課との仲介を担い、匹見地域総務課やサービス事業所等と連携し、状況確認等を実施(別紙②) ・高齢者虐待に関する研修への参加(12・3月)、権利擁護推進会議への出席(2月)</p> <p>【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・居宅介護支援事業所からの相談に対し、福祉総務課とともに申立人の検討や今後の対応等について協議するなどの対応を実施 ・認知症高齢者の金銭管理に関する相談等に対して、居宅介護支援事業所、匹見地域総務課とともに自宅訪問等の対応を実施 ・金銭管理が十分にできない高齢者に対して社協生活支援課へ相談するとともに福祉総務課と連携した支援を実施</p> <p>【消費者被害の防止及び対応】 ・消費者被害に関する内容ではないが、駐在所より情報提供のあった地域内で起こった窃盗事案について、サービス事業所、地域ケア会議、第2層協議体などで情報提供し、利用者や地域住民への注意喚起を促した</p> <p>【広報・啓発活動】 ・益田市消費生活センターから送付されたチラシ等を地域住民の集う場にて配布</p>

<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 匹見地域ケア会議のネットワーク構築機能を活用し、地域の介護支援専門員と関係機関との連携を支援する。 ・ 出席する会議等で得た情報やネットワークを地域に還元する。 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な支援に加え、困難事例については適宜、事例検討をおこない、ケアマネジメント力の向上支援をおこなう。 ・ 生活支援コーディネーターとの連携により把握・整理した地域の社会資源情報を介護支援専門員へ提供し、ケアマネジメントに活かせるよう支援する。 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域の主任介護支援専門員との連携をはかりながら、地域の居宅介護支援事業所の実践を支援する。 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 益田市地域ケア推進会議、益田市地域ケア個別会議、第2層協議体等により得た情報やネットワークを地域の介護支援専門員と関係機関との連携体制構築に活かしていく。 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議や包括居宅合同ミーティングなどを活用し、地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例の検討をおこなう。 ・ 収集、整理した地域の社会資源情報を可視化して介護支援専門員等へ提供する。情報は定期的に更新する。 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の介護支援専門員等のニーズに基づいた研修会等の企画や運営をともにおこなう。 	<p>【関係機関との連携体制構築支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議の個別事例検討を通じて、介護支援専門員と民生委員との顔つなぎ支援を実施 ・ 益田市地域ケア個別会議、益田市権利擁護推進会議などで得た情報、民間のサービスや生活支援情報を地域の専門職や援助者に随時提供 <p>【介護支援専門員に対する個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護支援事業所との研修を実施 12回（うち1回は事例検討、別紙③） ・ 地域の社会資源情報を掲載する冊子作成作業を居宅介護支援事業所の介護支援専門員も交えて実施 <p>【主任介護支援専門員との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメント支援研修の企画、運営、開催（11・2月）
<p>介護予防ケアマネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防給付および介護予防・生活支援サービス事業によるサービスが適切に提供されるようケアマネジメントをおこなう。 ・ 高齢者や家族、サービス事業所等と「介護予防」や「自立支援」の意識の共有をはかり、高齢者の行動変容につながる支援をおこなう。 ・ 地域に出向き、地域住民に向けて、介護予防についての啓発と情報提供活動をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と地域のつながりを意識した予防給付および介護予防・生活支援サービス事業の介護予防ケアマネジメントを実践する。 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業に関わる会議や研修、ケアマネジメント技術向上のための研修等へ参加し、業務に係る情報と知識の習得やスキルアップをはかる。 ・ 歯科診療所と協働し、フレイル予防啓発チラシの作成と配布及び百歳体操教室等での講話を継続し、介護予防の推進に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付管理件数 介護予防支援 257件 介護予防ケアマネジメント 218件 ・ 新規件数 12件（別紙④） ・ 終結件数 17件（うち要介護区分への移行 12件） ・ 研修への参加 18回（別紙⑥） ・ オーラルフレイル予防啓発チラシの発行と配布、百歳体操教室等でのプレゼンテーション（5・7・11・1・3月）
<p>圏域地域ケア会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別事例検討を通して、援助者間の連携意識を深め、支援の方向性などを共有し、介護支援専門員等のケアマネジメント力の向上と支援をはかる。 ・ 民生委員や公民館職員、近所住民など、気になる高齢者の生活の場に近い人を中心とした随時型の地域ケア会議を開催する。 ・ 整理・分析した地域課題や、地域づくりに向けて検討した取り組みについて、第2層協議体とともに協議する場を定期的に設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護・医療・福祉等の専門職を中心とした定例型の地域ケア会議を継続して取り組む。 ・ 地域課題の解決に向けた取り組みについて、関係機関等との連携を基盤におく視点を持ちながら検討し、実施につなげる。 ・ 地域の状況や課題などについて民生委員と話し合う機会を設ける。 ・ 生活支援や介護予防に係る地域課題や、課題解決に向けた取り組みについて、第2層協議体とともに協議する機会を定期的にもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間10回開催。個別事例検討（4件）と地域の状況や課題及び地域課題解決に向けた取組みについての協議を実施（別紙⑤） ・ 臨時型ケア会議の開催はできなかったが、民生委員や公民館職員などからの相談に対して、関係者間で情報を共有しながら対応 ・ 第2層協議体との合同会議を開催（10月）。地域課題の共有や地域づくりに向けた意見交換等を実施 ・ 地域課題解決に向けた取組みとして、地域の社会資源情報を掲載する冊子作成作業を実施
<p>任意事業・その他</p>	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務に関する関係各機関との連携による支援のネットワーク形成をはかるとともに、センター業務における資質向上をはかる。 	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅改修に係る事前・事後の申請について速やかにおこなう。 ・ 対象者等の生活や身体の状態に応じて、必要な支援につなぐ。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政や多機関が主催する会議への出席を通し、関係各機関とのネットワーク形成や、業務における資質向上につなげていく。 1) 行政が主催する会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 益田市介護保険推進協議会（開催月） ・ 益田市地域ケア推進会議（開催月） ・ 益田市権利擁護推進会議（開催月） ・ 益田市地域ケア個別会議（適宜） ・ 益田市地域包括支援センター連絡会議（年3回） 2) 他機関が主催する会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 益田鹿足成年後見センター運営協議会・定例相談会（毎月） ・ 地域密着型通所介護事業所運営推進会議（2事業所・年2回） ・ 匹見地域生活相談員会議（適宜） ・ 匹見圏域第2層協議体（毎月） 	<p>【任意事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅改修支援事業対応 1件 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政や他機関が主催する会議に参加 26回（別紙⑦）